



# 週刊 前 防衛副大臣 おにき誠 まこと



### 南洋諸島訪問記

先週号・先々週号に引き続き、南洋諸島訪問記についてになります。  
過去の「週刊おにき」はホームページからご覧いただけます。

#### 「護衛艦きりさめ激励」

インド太平洋方面派遣水上部隊である護衛艦「きりさめ」がソロモン諸島に到着しているため、隊員を激励すべく乗艦し訓示を述べました。7月5日に佐世保を出国した護衛艦きりさめは、パラオで共同訓練やスポーツ交歓をした後、ソロモン諸島ホニアラに入港しているところでした。私は甲板で隊員に訓示を述べた後、坂田淳きりさめ艦長のご案内で艦内の視察と隊員との意見交換をしました。長く家族と離れて苦労の多い航海ですが、日の丸を背負って国際貢献をする誇りを胸に頑張してほしいと伝えました。

ガダルカナル島への寄港は自衛艦にとって今まであまり例のないことで、データ不足の中、艦長は無事に着岸できるか不安を抱えていました。ところが当日大変不思議なことが起こったのです。艦長曰く「艦が導かれるように自ら港にスーッと入っていった」そうなのです。ガダルカナルで亡くなった魂が、慰霊に訪れた私達を「よく来たね」と喜んで導いてくれたかのようでした。

#### 「福岡隊慰霊碑を参拝」

宿泊先のキタノメンダナホテルのすぐ近くに、福岡から派遣された歩兵第124連隊川口支隊を祀る慰霊碑があります。福岡県出身者が多い精鋭部隊だったということで、戦後、福岡ホニアラ会の皆様が慰霊碑を建立してくださいました。ご遺族の高齢化により福岡ホニアラ会はもう活動を停止しているようですが、その慰霊の心は引き継いでいかなければと思いました。

以下、碑に刻まれていた文を引用します。↓↓↓  
昭和十七年八月末以来、六箇月にわたり祖国日本を遠く離れたこの南海の地で、優勢な連合軍の猛攻の下、撃つに弾なく食うに糧なく、極限状態の惨状はまさに言語に絶するものであった。その犠牲となった川口支隊三千百七十九柱の御霊の安らげきを祈り、ここに鎮魂の碑を捧ぐ。 平成五年九月建立 福岡ホニアラ会



### 英国駐在武官と懇談

駐日英国大使館の国防武官であるサイモン＝ステイリー海軍大佐が議員会館に來られ、意見交換をしました。

険しさを増す世界の安全保障環境の中で、日本と英国の防衛協力は新時代を迎えています。私が副大臣に就任しての10ヶ月、英国空母クイーンエリザベスのインド太平洋展開や、次期戦闘機の日英共同開発、日英円滑化協定など、これまでの次元を超えた防衛協力が進展してきました。

ユーラシア大陸を挟む海洋国家、日本と英国が協力し合って世界の平和を構築していこうと意気投合しました。



### 福岡での活動



城南小おやじの会キャンプ



舞鶴校区夏祭り



福岡市空手道総合演武大会



島廻り橋にて朝のご挨拶

### おにき誠 後援会事務所

〒810-0014  
福岡市中央区平尾2-3-15-2F  
Tel.092-707-1972

おにき誠公式ホームページ

LINE公式アカウント

Facebook ページ

Twitter公式アカウント

### おにき誠 プロフィール

- 昭和47年10月 福岡市生まれ
- 田島小学校 (城南区) 卒
- 当仁中学校 (中央区) 卒
- ラ・サール高校卒 ● 九州大学法学部卒

---

平成 7年～14年 西日本銀行 (西日本シティ銀行) 渡辺通支店～大名支店

平成15年～24年 福岡県議会議員 (3期10年)

平成24年 12月 衆議院議員に初当選

平成27年 10月 環境大臣政務官就任

令和 3年 10月 防衛副大臣就任  
衆議院議員再選 (4期目)